

平成27年度 四国中央市ボランティア市民活動センター 事業報告書

四国中央市社会福祉協議会

1 ボランティアセンターの運営（市指定管理事業）

住民が福祉に関する関心を高め、地域でのボランティア・市民活動がより活発にすすめられるように、相談を受けたり、ボランティアを紹介したり、各種の研修や交流会を開催するなど、市民参加と協働による福祉社会の創造に努めた。（ボランティア市民活動センター）

①ボランティア情報の収集と提供

○情報の収集

- ・愛媛ボランティアネット、愛媛県社会福祉協議会、財団等からの助成金情報、ボランティア・イベント情報等に関するパンフレット等の収集

○情報の提供

- ・センターでの掲示（掲示板、陳列台、パンフレット台等を活用）
- ・社協だよりに掲載して提供（年間8回）
- ・専用ホームページにて公開・提供、随時更新
- ・地域活動支援センターでの作品等展示・販売するスペース提供

②ボランティア相談窓口の設置

- ボランティア活動に関する各種相談・需給調整を実施（※利用状況表参照）
- コーディネーター研修への参加等を通し相談窓口業務の充実を図った。
- 社協各支所と連携・協力した窓口対応を実施

③広報・啓発活動

○「みんなのボランティア・市民活動ハンドブック」（A5判144頁）を作成し配布した。
700部）

- センター紹介パンフレット「みんなボランティア」による広報・啓発
- 「社協だより」による広報・啓発（年間8回／1ページ内）
 - ・ボランティア市民活動センターの開所・活動状況
 - ・イベント情報・登録者の活動状況の紹介等
- 「市報」への記事等の掲載（講演会・開講講座等／必要都度）
- その他
 - ・各種窓口へのポスター掲示・チラシ配布
 - ・登録団体・個人登録者への案内状・チラシ送付等
 - ・ホームページによる広報活動・助成金情報等提供
 - ・ボランティア市民活動センター掲示スペースの活用
 - ・パンフレット・冊子を常時、展示・提供
 - ・登録団体別ファイル作成

④人材の育成と養成

○ボランティア市民活動研修会の開催

回	月/日	内 容	参加人数
1	7/28(火)	ボランティア活動のいろは	26
2	8/11(火)	地域づくりの課題を考える	15
3	8/25(火)	地域づくりの課題解決	14
4	9/1(火)	地域の資源開発に向けて	20
5	9/15(火)	四国中央市の課題の解決法を発表する	22
●講師：前田 眞氏（愛媛大学 社会連携推進機構 教授） ●会場：四国中央市福祉会館 1階 ●時間：13:30～15:30			97 (申込) 51

⑤ボランティアの交流とネットワークの促進

○登録ボランティアグループ・ファイルの整備。

○「ボランティア市民活動センター交流会」の開催。

- ・12月20日(日) 福祉会館、参加32団体（97名）個人登録13名
計110名
- ・プレゼンテーション7団体、物品販売等7団体

(ボランティア市民活動センター利用状況)

活動状況	H27年度		H26年度		
	H27年度	H26年度	H27年度	H26年度	
個人登録者数	97人	93人	コピー機	219件	225件
団体登録数	152団体	142団体	印刷機	92件	97件
	6,143人	5,998人	自動紙折機	0件	0件
マッチング件数	243件	223件	ファックス	2件	0件
来所者数	*1,147人	1,369人	パソコン	20件	25件
電話受付数	*1,377件	1,603件	ロッカー	360件	365件
メール受付数	*143件	173件	レターケース	328件	310件
施設等利用数	1,507件	1,548件	大型プリンター	20件	21件
ファックス	55件	46件	自動穴あけ	12件	6件
郵便	1,234件	1,037件	裁断機	16件	10件
訪問	55件	54件	部屋	412件	449件

*部屋の予約、開館-機器の利用等事務的問合わせ、納品-修理、挨拶、内部連絡等除く

⑥ボランティア活動に関する調査研究

○各関係機関との協力による市民活動等に対する意識啓発。

○ボランティアや職員の取り組む姿勢のあり方を研究。

⑦ボランティアへの場所・設備の提供

○休日の開所、場所の利便性、公共性を利用した、イベント等の問合せ等に活用。

○貸出機器、設備の充実化。

⑧災害ボランティアの育成

○災害ボランティア活動研修会の開催。

- ・3月4日 市福祉会館4階 参加者 約200名

講演題 「みんなの力で地域を守る」

講師 岩手県陸前高田市米崎中学校仮設住宅自治会長 金野廣悦 氏

2 災害ボランティア活動支援体制の整備

災害時において、被災者の一日も早い生活再建を進めるために、平常時から市との連携や災害ボランティアセンター立ち上げに関する体制整備を行い、住民・関係機関との連携・協働体制の確立に努めた。

①関係機関・団体等との協働体制の確立

○消防本部（安全・危機管理課）、市民環境部（市民交流課）との連携強化。

②災害ボランティアセンターの設置・運営

○災害ボランティアセンター設置時の社協職員の配置及び役割の確認を行った。
○資機材の整備計画についての協議を行った。

③総合防災訓練への参加

○愛媛県総合防災訓練（9月1日）へ参加。

④資機材等の確保・管理

○資機材（テント、炊き出し器、一輪車、スコップ等）の確保、管理。

⑤指針・マニュアルの整備と見直し

○災害発生時の社協職員の召集及び配備体制等の確認。

3 福祉教育の推進

共に生きる福祉社会の創造をめざし、地域における住民の福祉学習や体験活動を推進し、福祉意識の向上、思いやりの心の醸成、地域福祉活動の活性化に努めた。

①福祉学習の推進

○福祉協力校の指定。

・市内3高校、6中学校、1小中一貫校、18小学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉活動に対する援助を実施した。（助成金額1,040,000円）

4 ボランティアの育成・活動支援

地域において援助が必要な人への理解をもち支援するボランティアの育成、団体等への助成を行い、ボランティア活動の普及と地域づくりを支援した。

①福祉教室の実施

○手話教室の開催。

・川之江会場 7月22日～8月26日／6回／受講者 4名（前年度 7名）
・三島会場 7月 3日～8月 7日／6回／受講者 4名（前年度 3名）
・土居会場 7月21日～8月25日／6回／受講者 7名（前年度 4名）

○点字教室の開催。

・川之江会場 8月 8日～9月26日／6回／受講者 0名（前年度 3名）
・三島会場 6月 4日～7月 9日／6回／受講者 7名（前年度 7名）

○朗読教室の開催。

・本所会場 9月 8日～10月27日／7回／受講者 11名（前年度 12名）

○傾聴ボランティア教室の開催

・本所会場 11月 5日～12月10日／6回／受講者 17名

○要約筆記教室の開催。

・川之江会場 10月6日～11月24日／6回／受講者7名（前年度5名）

②ボランティア活動助成事業の実施

○福祉のまちづくり助成事業の実施。

	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度
助成団体数	48	44	40	37	42
助成金総額(円)	1,800,000	1,800,000	1,400,000	1,206,000	1,460,000

③ボランティア保険の加入促進

○ボランティア活動保険加入者数 2,619名（前年度2,265名）

○ボランティア行事用保険加入者数 2,435名（前年度3,565名）

④点字・声の広報等発行事業の実施（市委託事業）

○点字広報等の発行事業の実施。

・ボランティアグループ点字やすらぎ会により毎月発行（9名分）

○声の広報等の発行事業の実施

・朗読やすらぎ会 毎月CD20本、テープ2本吹き込み（22名分）

・川之江朗読奉仕会 毎月CD10本、テープ1本吹き込み（11名分）

・朗読サークルつゆくさの会 毎月CD2本、テープ1本吹き込み（3名分）
（1名分+図書館）